ヴィアレブ®をお使いのみなさまへの情報誌

Vya Circle

ヴィアサークル

Vol. 1

〔総監修〕
独立行政法人 国立病院機構
仙台西多賀病院 院長
武田 篤 先生

abbvie

ヴィアサークル発刊によせて

ヴィアレブ配合持続皮下注は、世界に先駆けて2023年7月から日本で使用できるようなりました。
ヴィアレブは24時間持続的にレボドパ製剤*を皮下に注入する世界初の治療法であり、これによりパーキンソン病治療の選択肢が1つ増えたことは、患者さんと同様に私たち医療従事者にとっても大変喜ばしいことです。

それぞれの患者さんは、ヴィアレブ治療を始めるにあたり、相当な覚悟と思いを持って、臨まれたことと思います。治療の初期には、毎日の物品交換やポンプ操作などに戸惑ったり、不安になったり、続けられるか心配になったこともあるかもしれません。まずは毎日の手技や操作、ポンプとともに生活する日々に慣れていきましょう。また、経口剤とヴィアレブでは投与経路が違うため、用量が安定するまで時間を要しますが、一喜一憂せずに、長い目でこの治療に付き合う心構えが必要かと思います。

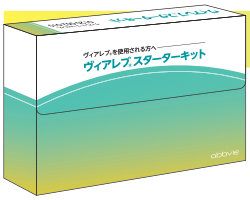
ヴィアレブ治療について、わからないこと、不安なこと、困ったことがあれば、ひとりで抱え込まずに、早めに医療機関やコールセンターに相談してください。
また、この治療に少し慣れてくると、自己流の手順になったり、清潔操作が疎かになることがあるかもしれませんが、それは絶対にしないでください。この治療を安全に長く続けるためには、適切なサポートを受けながら、「初心を忘れず」手順どおりに正しい手技を行うことがとても大切なのです。

本誌はヴィアレブ治療を行うみなさんやご家族の方へヴィアレブ治療に関する日常生活の留意点や、快適に過ごしていただくための役に立つ情報やパーキンソン病に関するさまざまな情報を直接お届けします。
この治療が長く患者さんとともにあるように、私たち医療従事者はこれからも患者さんに寄り添いサポートしていきます。一緒に頑張っていきましょう。

独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院
院長 武田　篤 先生

＊ヴィアレブはホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物を配合したレボドパ・カルビドパのプロドラッグ製剤です。
＊ヴィアレブの効能又は効果は、「レボドパ含有製剤を含む既存の薬物療法で十分な効果が得られないパーキンソン病の症状の日内変動（wearing-off現象）の改善」です。

ヴィアレブ治療を受けられる患者さんのためのサポートツールのご紹介



スターターキット（治療開始時の資材キット）

ヴィアレブ治療をスタートした際に医療機関から提供された資材です。
ここでは、主な資料の内容や使い方の一部をご紹介します。
足りないものがあればコールセンターにご依頼ください。

ヴィアレブ患者日誌

1日の症状や、ヴィアレブの投与（流量変更、追加投与など）、物品の交換について毎日記録します。特に、輸液セット交換時にカニューレの留置位置を記録することは、皮膚トラブルを防ぐためにとても大切です。日誌に記録することを習慣づけるようにしましょう。
この日誌は、医療従事者との大切なコミュニケーションツールになりますので、外来時には必ず持参するようにしてください。
＊使い方がご不明な場合はコールセンターにお問い合わせください。

準備シート

薬剤や物品を交換する際に使用します。
ヴィアレブ治療では様々な物品を使用しますので、準備不足であわててしまわないように、あらかじめ必要なすべての物品を準備シートの上に置いてから作業を始めましょう。
準備シートの手前にはペーパータオルを敷いて、その上でシリンジに薬液を充填したり、ポンプの操作を行います。

サポートマニュアル

後方ページにある[大切なメモ・緊急時の連絡先]には、シリンジの交換時間や、流量変更、追加投与、経口レボドパ製剤服用タイミングなどの医師の指示を確認して記入しておきましょう。

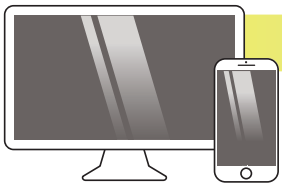
ポケットマニュアル

患者手帳の目的も兼ねていますので、外出時には必ず携帯するようにしてください。後ろのページにある「私の目標」をぜひ記入しましょう。

患者さん向けガイド

安全性に関する大切な情報を掲載しています。

これらの冊子には、ヴィアレブの治療に関する大切な情報を掲載しています。
ご家族や介護者の方と共有して、いつも手元に置いておきましょう。
ヴィアレヴ治療に慣れてきても、自己判断で簡略化せずに、サポートマニュアルの手順に従って操作することは安全性上とても大切です。
必ず手順に従って清潔な操作を心がけてください。



ヴィアレブ.jp（ヴィアレブに関する情報を紹介するWEBサイト）

ヴィアレブ.jp

ヴィアレブをご使用になっている、あるいはご使用予定の患者さんおよびそのご家族・介護者の方を対象に情報をお届けするWEBサイトです。
サポートマニュアルとポケットマニュアルはWEBサイトからもダウンロードできます。

URL https://vyalev.jp　ヴィアレブ.jp　検索

ヴィアレブ.jp

●コンテンツのご紹介

- **ヴィアレブについて**　進行期パーキンソン病の課題と、ヴィアレブによる治療についてわかりやすく説明しています。
- **治療の一日と注意点**　ヴィアレブ治療の一日と日常生活で気を付けていただきたいことをご紹介します。
- **よくある質問**　ヴィアレブ治療に関するよくある質問にお答えします。
- **患者さん向けサポートマニュアル**　ヴィアレブの投与手順、日常のケアや注意事項などを詳しく説明しています。
- **患者さん向けポケットマニュアル**　携帯用小冊子で、日常のケアや注意事項などを簡潔に説明しています。
- **訪問看護・介護施設の方へ**　看護・介護する専門職の方に知っていただきたいことを簡潔にまとめています。
- **ヴィアレブ皮下投与システム操作手順**　日々の操作と交換手順をアニメーション動画でわかりやすく説明します。
- **パーキンソン病に関連する公的支援制度・医療費助成について**

アニメーション動画でわかりやすく説明します。

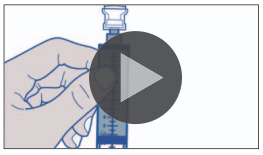
二次元コードから直接アクセス可能です。

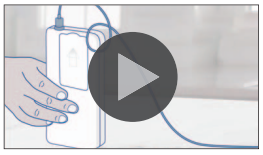
●物品交換の手順

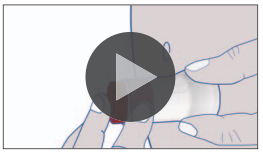
交換手順①	シリンジ及び輸液セットを交換する場合
交換手順②	シリンジのみ交換する場合
交換手順③	輸液セットのみ交換する場合

サポートマニュアルを一緒に見ながら操作手順を練習しましょう

●操作方法はやわかり


シリンジに薬液を移しとる手順


チューブを充填する手順


カニューレの留置手順

＊コンテンツは予告なしに変更する場合があります。

ヴィアレブコールセンター（電話でのサポート）

ヴィアレブコールセンターは、ヴィアレブを使用されている患者さん、およびそのご家族・介護者の方を対象にした電話でのサポートです。
ヴィアレブ治療の研修を受けた看護師資格をもつ専門のスタッフが24時間365日交代制で対応しています。
日々の操作の中では、「**カニューレ留置が不安だ**」「**ポンプの操作方法がわからなくなってしまった**」「**ポンプのアラームが鳴ったけどどうしたらいいの?**」など、慣れるまでは、不安なこと、わからないことがたくさん出てくると思います。
そんなときには、コールセンターのスタッフが一緒に手順を確認しながら操作をサポートさせていただきますので、どうぞお気軽にお電話ください。
また、追加で資材が必要な場合もコールセンターにお問い合わせください。

なお、下記に関しては、医師の診断や医療機関での処置が必要になる場合がありますので、おかかりの医療機関へご連絡をお願いしています。

- 皮膚症状や、おからだ（症状）の変調にかかわること
- 薬剤の用量調整や治療方針にかかわること
- コールセンターで一緒にポンプ操作を行ってただいても不具合が解消されない場合（ポンプの交換が必要な場合）など

コールセンターには毎日様々なお問い合わせをいただいています。ここではその1例を紹介します。

電池交換時にあったお困りごと

Q：フル充電した電池を交換したのに、ポンプの画面が反応しません。
画面が真っ黒のままです。どうしたらいいですか?

A：ポンプから電池を取り外して、10分間お待ちください。
その間に電池とポンプの金属端子部分にホコリや汚れはないことを確認します。
10分経過したら、フル充電した電池をポンプにセットして、ポンプを再起動してください。

Q：10分待って電池をセットしたらポンプが動き出しました。これはどうしてですか?

A：ポンプは精密機器です。ポンプの中には電気をためる部品（コンデンサー）が入っています。
長時間使用していると、電池を交換した際に、ポンプ内に貯まった電気によりポンプが反応しない場合があります。そのため、内部に貯まった電気を抜く（放電する）ために、電池を外して10分間待って再起動していただく方法をご案内させていただきました。
もし、電池を交換した直後に画面が反応しなかったり、何らかのアラームがなった場合は、ポンプの再起動を行ってみてください。

Q：そうなんですか！　わかりました。何かあったら再起動をしてみます。

A：ポンプが起動する際には毎回自己点検機能でセルフテストを行います。ポンプが動き出したら、セルフテストが完了していますので安心してご使用ください。
では、再起動後の投与再開の手順を一緒にやってみましょう。（以下省略）

ヴィアレブ　コールセンター

フリーダイヤル
0120-062-510
受付時間：24時間365日〈通話無料〉

わからないことがあれば
いつでもお電話ください。
お待ちしています。

患者さんや
介護者の方々からの
お電話をお受けしています。

製造販売元
アッヴィ合同会社

2024年8月作成
JP-VYAL-240069-1.0

abbvie